

両側乳房へ著明な Ga-67 の集積を認めた 伝染性単核球増加症の 1 例

多田 明 高仲 強 立野 育郎
清水 正彦*

はじめに

発熱と頸部リンパ節の腫脹を主訴として来院し、伝染性単核球増加症を疑われた 21 歳女性に Ga-67 スキャンを行ったところ、両側の乳房に著明な集積を認めた。この女性は独身であり、妊娠や出産の既往がなく、従来報告されているような高プロラクチン血症を来すような薬剤の投与も受けていなかった。

症 例

症例は 21 歳女性、昭和 63 年 1 月 1 日から 37°C 代の発熱があり、近医で投薬を受けていたが解熱せず 1 月 8 日には 38.4°C と増悪したため 1 月 9 日当院内科を受診した。身体所見で両側頸部リンパ節の腫脹を認めた。外来での検査から白血球数は 2,900 で増加していなかったが分画で異型リンパ球が 21% と増加していたために、伝染性単核球増加症を疑われ当日入院した。

Ga-67 スキャンは 1 月 19 日に注射され、21 日に撮像された。Fig.1 に示した全身スキャンでは両側の乳房に肝への集積と同程度の著明な集積を認め、胸部のスキャンでは (Fig.2) 乳房の中心部は activity が低くて、いわゆるドーナツパターンを呈していた。なお頸部リンパ節や他の部位への異常集積は認めなかった。22 日には患者を診察し、念のために乳房の超音波検査を施行したが、腫瘤性の病変は認められなかったし、乳房の腫脹や乳汁の分泌なども認めなかった。

入院時から 1 月 21 日までの処法内容は、硫酸マ



Fig. 1 Gallium-67 anterior whole body scintigraphy in a 21-year-old woman with infectious mononucleosis demonstrating marked bilateral uptake in the breasts.

A case of infectious mononucleosis demonstrating marked ⁶⁷Ga accumulation of bilateral breasts.

Akira Tada, Tsuyoshi Takanaka, Ikurou Tatuno, Masahiko Shimizu*

国立金沢病院放射線科, *内科 〒920 金沢市石引3丁目1-1



Fig. 2 Anterior chest gallium-67 scintigraphy demonstrating the bilateral symmetrical "doughnut" pattern of localization.

グネシウム 0.6%, スルカイン 3.0 g, ゲファニール 3 cap, レフトーゼ 6 tab であり, プロラクチン分泌を刺激するような薬剤の投与はされていなかった。患者は妊娠の既往はなく, 最近の生理は 12 月 26 日から始まり, 次回の生理は 1 月 26 日から始まっていた。

画像診断のポイントと考察

Ga-67 の乳房への生理的な集積は広く知られており, 日本での検討では女性の約 5.4% に, 欧米の報告では約 12% に認められている。一般的には両側乳房への著明な集積はホルモンの異常によって起

こると考えられている。妊娠, 分娩, 授乳などの状態では乳腺刺激ホルモンのプロラクチンが増加しており, その外的場合でも腎不全や各種の薬剤による高プロラクチン血症が原因として知られている。それ以外の原因としては経口避妊薬や更年期障害の治療に用いられるエストロゲンの影響や肥満などが報告されている。

Kim らは Ga-67 の両側乳房への集積を 3 つのパターンに分類している。(1) doughnut pattern (2) subareolar pattern (3) diffuse pattern であり, doughnut pattern は高プロラクチン血症と, subareolar pattern はエストロゲンの刺激と関係があると考察している。われわれが報告した症例は doughnut pattern を呈しており, Kim の考え方からすれば高プロラクチン血症が原因であろうと推測できるが残念ながらこの症例ではプロラクチンの値は測定されていない。従来から報告のあるプロラクチン分泌を刺激するような各種薬剤 (reserpin, tofranil, phenothiazines, metaclopramide, prochlorperazine, chlorpromazine, meprobamate など) は使用されていなかった。また, 伝染性単核球増加症の罹患中に出現した異型リンパ球と Ga-67 の乳房への集積との関係については報告もなく, この症例における Ga-67 の集積の原因は不明と言わねばならない。

文 献

- 1) 利波紀久ほか: Ga-67 の乳房集積例の検討. *Radioisotopes* 29: 34-37, 1980
- 2) Kim YC, et al: Scintigraphic patterns of gallium-67 uptake in the breast. *Radiology* 124: 169-175, 1977
- 3) Chandramouly BC, et al: Uptake of gallium in the breasts. *Seminars in Nucl Medi* 14: 50-51, 1984